

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり水沢森下児童課 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 1月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人中	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の気持ちに共感した支援	送迎・申し送り時だけでなく、連絡帳に記載している保護者からの申し送りや日々の様子等に対してコメントを残し、保護者に寄り添った対応を心がけている。	保護者の気持ちに寄り添った対応ができるよう職員間で、申し送り時の保護者の様子などを情報共有していく。
2	こどもの特性に応じた専門性のある支援	こどもの特性に対し、職員間で朝礼や職員会議等で情報共有を図り、支援内容・方法を協議している。また、定期的に研修に参加、研修に参加した職員からの情報共有で、職員の専門性を高めている。	より専門性を高めるために研修等に積極的に参加していく。
3	固定化されていない様々な活動プログラム	幼児・児童・高齢向け等多角的な視点で活動プログラムを考え取り組んでいる。	日々のこども達の成長などにも視点を向け、より多角的な視点でプログラムを作成していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の放課後児童クラブ、児童館等、地域の他のこどもの活動	小学校・中学校の支援級に通っているこどもが多く、学校で他のこどもと関係を持つことが多い為、現状では地域のこどもの関わりを持つ機会が少ない。	地域の放課後児童クラブ、児童館等と行える活動について協議・検討していく。
2	事故・怪我等が発生した際の速やかな連絡や状況説明	ケガ等が発生した際、生活介護課の看護師に見せに行き、怪我の状況によってはその場で応急手当を行い、当日に申し送り時等で状況を説明している。	事故発生時には速やかに保護者に連絡し、状況説明を行う。
3	こどもや保護者との意思疎通や情報伝達の為の配慮	送迎・申し送り等、こどもがいる場で日々の様子だけではなく、課題点や問題行動に対して伝達した等の課題が上げられる。	課題点や問題行動等、保護者のみに伝えておきたい内容などは保護者だけの場、もしくは連絡帳や電話等を活用し情報伝達を行う事を再度徹底する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり水沢森下児童課 放課後等デイサービス

公表日 令和7年 3月 31日

利用児童数 令和 7年 1月 1日

回収数 18枚中16枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか、	14	1		1	活動の様子を見ていないため判断がつけられない、 身体を動かすと物足りないと思うが、静かに過ごすなら良いのでは…	親子で一緒に行えるようなプログラム等、活動の様子を実際に見ていただく機会を作っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか、	12	4			子どもの顔が数が多いため、ちょっと足りないのかなという感じ	職員配置に関して保護者の皆様にご意見をお聞きしております。園の配置基準に乗って職員は配置されております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか、	10	2	1	3	自分の子どもは大丈夫そうだが、他の子の状態はどうなのかわからない 階段が難しい利用者もいるのでは…	建物の構造上、階段や段差があります。職員等で危険箇所について入念に情報伝達し、段差等でケガがないように配慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか、	14			2		定期的に換気や消毒、清掃を行っており生活空間の清潔を保っております。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか、	16					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか、	16					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか、	15					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか、	14	1	1			個別支援計画に「本人支援」「家族支援」「移行支援」と支援内容を設定しております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか、	16					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか、	14	1		1	利用回数が少ない為、よく分からない、	季節に合わせた活動や、長期休時には外出活動等固定化されないようにプログラム作成担当者が中心となって作成しております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか、	7	1	4	4	学校で接すると思うので、今のままで十分だと思います。 利用回数が少ない為、よく分からない、	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか、	16					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか、	16					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか、	13	1	1	1		法人としてペアレントトレーニング等家族支援プログラムを研修会を実施しております
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか、	14	2				引き渡し時に活動の様子等をお話しておりましたが、より詳しくお話ができればと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか、	14	2				年に1度面談を行っており、必要に応じて個別で対応を行っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか、	16					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか、	7	3	2	4		保護者会の活動のご案内がある際は、玄関先にお知らせを掲示しております。
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか、	12	2	1	1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14		2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	3		様々な事件があったりするので、HP、SNS等関係者以外が見れる状況は怖いので、控えめで良いと思う。	活動予定などはお便りで、自己評価の結果等はホームページに掲載しております。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1				個人情報の取扱いについて職員間で徹底しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			2		玄関にマニュアル等が設置されており、以前事業所配布のお知らせで伝えている。最新のマニュアルを設置し再度お知らせします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			3		2カ月に一度、避難訓練を実施しております。実施の様子は事業所から配布されているお便りに掲載しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14		1	1		事故・怪我等の発生時には、保護者の皆様はその日のうちに連絡、発生時の状況を説明を行う事を徹底しております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15			1		職員一同、子ども達に安心して過ごしてもらえるよう危険箇所の確認や、子ども達に寄り添った支援を心がけております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	2				寝ることなく毎日楽しみに通っています。ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15		1			色々対応して下さり助かっています。いつもありがとうございます。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ひだまり水沢森下児童 放課後等デイサービス		令和7年 3月 31日				
	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2		スペースを広く取れるよう整理整頓を心掛けている。	今後も整理整頓を行いスペースが狭くならないように整備していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		規定に沿って、管理者・児童発達支援管理責任者・児童指導員が配置されている。	医療的ケアを必要とするこどもが利用となった際には、多機能型事業所である利点を生かし、看護職員を含めた支援体制を整える。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2		事業所の構造上、階段があるが完全バリアフリー化は難しいが、絵カードや写真などを使ったスケジュールの提示や各部屋にイラストを付けて、わかりやすく伝える等適切に配慮している。	個々の障害特性に合わせた情報伝達の手段を今後も模索しながら適切に行っていく。 危険箇所を発見次第、早急に対処していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2		衛生管理マニュアル、感染マニュアルに沿って手洗い・手指消毒の徹底、定期的な換気、支援ツール等の消毒を行い、衛生管理を徹底している。	経年劣化しつつある玩具等がないか確認し、子ども達が安全に快適に過ごせるようにする。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2		必要に応じ、静養スペース等として機能訓練室を開放している。	今後も個別の部屋や場所を使用できるように環境整備に努めていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2		支援の提供に関する記録を連絡帳を通して行い、支援の質向上と、職員間での情報共有を図っている。	職員が意見を積極的に話せるような環境整備を今後より強化していきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		保護者向け評価表の内容について、職員と情報共有し業務改善に繋げている。	保護者の意向等を把握し、改善に向けた話を行っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		朝礼や職員会議等で発言をする機会があるため、業務改善につなげている。	職員会議等で出た意見を、より業務改善に繋げていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		中立的立場の第三者委員がいる	今後第三者の外部評価を行われるよう、法人に働きかける。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		法人内等で講師を招いての研修会を実施、関係機関主催の研修会等へ参加し、職員の資質向上を図っている。	研修を受講する機会を職員全体により設け、資質向上につなげていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2		5領域との関連性を明確した支援プログラムをホームページに公表している。	支援プログラムを公表されていることを、保護者等に発信していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	1	1	面談等を通し、ニーズや課題を客観的に分析し支援計画を作成している。	職員全体でこどもと保護者にニーズを客観的に分析し、よりよい支援計画作成を行っていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		子どもの年齢や発達の段階だけでなく、別な考慮しなければならない要素とを比較・合理的に判断し、こどもの最善の利益を考慮した検討をおこなっている。	今度も職員と共通理解の下で、検討し作成していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		作成時に職員全体に内容を共有し、計画に沿った支援を行っている。	今後も職員間で支援計画を共有し、計画に沿った支援を行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		保護者から頂いた知能検査・発達検査の結果を職員で情報共有し、こどもの適応行動の状況を確認している。	検査の結果について、職員で情報共有すると共に、内容を踏まえた支援方法を検討・実践していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2		ガイドラインに沿った子供の支援に必要な項目を適切に設定している。	本人支援、家族支援、移行支援、地域支援の内容について職員全体で共有し、支援内容が具体的にになっているか確認する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2		発達段階、障がい特性等に応じて、職員も交えてチームで立案している。	今後もチームで活動を立案していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2		5領域に両立したプログラムを組み合わせ、創意工夫している。	5領域を均等に織り交ぜた活動プログラム作成に取り組み、幼児から高齢者向けなどあらゆる視点から構成している。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2		年齢や発達状況等に考慮し支援グループを分けて集団活動を行っている。	利用者の年齢や課題を考慮し、活動を組み合わせるで行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		朝礼時に活動内容、役割分担等を確認し合い、連携して行っている。	急な欠勤等があった際にも、事前に活動内容が分かるよう情報共有に努めていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		職員連絡帳等を活用し、翌日の朝礼に振り返りを行い、支援の振り返りや気づいた点等、情報共有を行っている。	個人連絡帳の内容が職員連絡帳等に記載されているか確認し、情報に漏れがないか確認していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		日々の支援の様子だけでなく、特記事項も合わせて記入し、特記事項を含めた支援の検証・改善を行っている。	今後も記録を徹底し、支援の検証・改善に努めていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		概ね6カ月に1回全体のモニタリングを行い、支援計画の見直しを職員間で評価している。	職員全体が同じ認識のもと、適切に見直しが行えるように努めていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	2		基本活動を踏まえ、複数組み合わせる支援を行っている。	今後もこどもが主体性を発揮しながら参加出来るように支援していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2		自己選択できるようにおやつバイキング等の活動や余暇活動の遊び方等、自己選択・自己決定する力を育てるための支援を行っている。	自己選択できるような活動の種類を増やし、より自己決定する力を育てられるように職員間で協議していく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		児童発達支援管理責任者がその時点までの提供状況を踏まえ、情報を積極的に共有し、参画している。	こどもの状況をよく理解した者と判断した職員が参加できるようにしていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	1	子どもを中心とした支援の輪の形成に努めている。	今後も必要に応じて関係機関と連携して支援を行っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2		併行利用している幼稚園・認定こども園と支援内容等情報を共有し、相互理解を図っている。	今後も併行利用している幼稚園・認定保育園等と情報共有と相互理解に努めていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2		移行する際には、施設等を訪問し担任等と情報共有を図り、相互理解に努めている。	今後も施設等と連携し、情報共有・相互理解に努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2		必要に応じ、施設等で聞かれる支援会議等に参加し、引き継ぎを行い支援内容等の情報を提供している。	今後も支援会議等に参加し、情報提供を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2		児童発達支援センターと必要に応じて情報共有を行っていたが、助言等を受ける機会が少なかった。	今後児童発達支援センターと連携し、必要に応じて助言等を受ける機会を設けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		2	併用利用をしている為、活動する機会がある。	必要時には他のこどもと活動する機会を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2		協議会主催の研修等に積極的に参加している。	協議会主催の研修等に今後も参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		連絡帳等を通じて保護者と気になること等、日ごろの子どもの状況を伝えている。	更に状況や課題について共通理解ができるように、迎え時等より情報を伝えていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		法人主催のペアレント・トレーニングの研修会や講座など情報提供を行っている。	今後も家族などが参加できる研修の機会や情報提供に努めていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		利用申し込み時に理解しやすいように丁寧に説明を行っている。	より丁寧に分かりやすく説明を行っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		支援作成時には、お迎えの際などでこどもや家族の意向を確認し、意思を尊重して作成している。	今後もこどもや家族の意向を確認する機会を設け、支援計画を作成していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2		作成時、変更時に保護者に対し対面で丁寧に説明をし、同意を得ている。	保護者により分かりやすく丁寧に支援計画を説明を行っていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2		繰り返し渡し時等、家族からの相談に対し家族の困惑等を受け止め、助言を行っている。	家族などからの相談等、必要に応じて職員間で相談内容を検討し、助言と支援を行う。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	現在、保護者会は法人と別で運営されており、保護者会から来た案内等、玄関に設置・掲載し、保護者同士で交流する機会を紹介している。	保護者懇談会等を開催し保護者同士で交流する機会を設けていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	苦情・虐待に関する相談を含め、苦情受付担当者・苦情解決責任者・第三者委員を設置し、迅速かつ適切に対応している。	今後も迅速かつ適切に対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	毎月お便りを発行し、活動概要等を子どもや保護者に対して発信している。	お便りだけではなく、ブログ等を活用し活動概要などを発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	契約時、文書により保護者等に同意書を得て、ホームページや広報誌等の許諾を得ている。また、研修などで事例提供する際には改めて同意書を得ている。	写真掲載等改めて一覧表を作成し、ホームページなどの写真掲載について再確認を図る。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	丁寧に分かりやすく簡潔に伝えることを意識して、意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	今後も配慮した情報伝達を行っていく。
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	地域の老人ホームへの慰問を行っており、お便り等で慰問した状況等を発信している。	今後も継続して老人ホームへの慰問を行っていく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	それぞれマニュアルを策定し、内容について職員間で読み合わせを行っている。	事故発生時、緊急時等の対応について送迎中、休日時等を想定した訓練を行うことを検討していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	BCPを策定し、2カ月に一度定期的に避難訓練を行っている。	祝日に訓練を行う事が多かった為、今後は長期休暇や土曜等での訓練も検討する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2	原薬が新たに増えた、種類が変わった等連絡があった際には、保護者より服薬説明書をいただき、常に新しい服薬状況を職員は確認し対応している。	服薬に変わりがない子どもに対して保護者に聞き取りを行い、服薬が変わっている際には服薬説明書をいただくことを依頼する。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	利用申し込み時の面談等で食物アレルギーについて確認をし、アレルギーのある子どもについて、保護者より検査結果表を頂いて対応を行っている。	食物アレルギーを持つ子どもを表にまとめ、誤飲がないように徹底する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	安全管理に必要な研修・訓練等、安全管理を十分に行っている。	今後も継続して、安全管理に努め支援を行っていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	取り組み内容について、おたより等で家族等に周知している。	お便り以外での取り組みの発信方法について、検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	朝礼や職員会議等でヒヤリハットを共有し、SHELモデルに沿った対策をとり、再発防止に向け検討している。	今後もSHELモデルに沿った対策を取り、再発防止につなげていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	定期的に虐待防止に関わる研修を、オンライン研修や職員会議等でマニュアルの読み合わせ等を行っている。	今後も法人、職場内研修を通し虐待防止の研修を重ねていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	事業所を利用されている子ども野中で、身体拘束を必要とする子どもがいないため、支援計画に記載していない。	やむを得ず身体拘束を行う事がある際には、保護者に身体拘束についての説明を十分に説明し了解を得る。支援計画にも記載し、身体拘束を行った記録を行う。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり水沢駅東 放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	それぞれの利用者の理解度や発達段階に合わせた発信方法で、意思表示の仕方を覚え、社会性を身に付けられるよう支援しています。	絵カードや手順書等のツールを活用し、使い方について毎日統一した方法で、繰り返し取り組んでいます。スモールステップで成功体験を積み、自信に繋がれるようにしています。	日々の支援状況からアセスメントを取り、成長に合わせ支援内容を変更します。力の発揮に繋がれるよう取り組みます。
2	1階と2階に活動スペースがあり、部屋ごとに活動内容を分けることができます。玄関前にはスロープがあり、室内はバリアフリー化されており、1階には個室があり、個別の活動では集中した環境で支援を受ける事ができます。個室で小グループで過ごす事で個々との関わり、遊び等のルールを学べるようにしております。	様々な構造化を行い、利用者に分かりやすく表示し、部屋の使い分けができるようにしています。ルールやマナーについては、教材や手順を示すツールを使用し、理解しやすい方法で取り組んでいます。	日々の観察から、室内の構造化について検討し、利用者が安心、安全に過ごせる環境となるよう努めます。また、楽しく活動に取り組めるスペース作りを心掛けていきたいと考えます。
3	近隣に高齢者施設や地区センター、商業施設が豊富にあり、買い物体験や、体育館を借りての運動、地域住民と交流等の活動に取り組んでいます。	長期休みや土曜日の活動では、外出の機会を設け、近隣施設での買い物体験や体育館を借りて、運動を行う等の活動を取り入れるようにしています。年に一回は高齢者施設等を訪問し、交流できるように取り組んでいます。	近隣の施設での行事に参加したり、訪問して頂く事で利用者や地域の方々との交流を深め、相互理解に繋げ、安心して通える事業所作りに取り組んでいきたいと考えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	評価表アンケートを通して、事業所での取り組みが保護者に十分に伝わっていない状況があり、お便りやブログでの情報発信が不足していることが分かりました。	月に一度、お便りの発行やブログの更新を行っていますが、活動内容や取り組み目標について、不十分であることが要因ではと考えます。	お便りやブログについて、事業所での取り組みや支援内容が分かりやすくなるよう見直し、発信方法についても検討し取り組んで行きたいと考えます。
2	評価表アンケートを通して、保護者同士での交流する機会が少なくないと感じているとの回答があり、不足していることが分かりました。	感染症の流行等により、懇談会の開催が難しくなっていた事が要因と考えております。	感染症等の状況を見ながら安全面を考慮し、開催できるようにしていきます。保護者のニーズを確認し、開催内容を検討し気軽に楽しみながら交流する機会となるよう考えていきます。
3	児童クラブや、児童館との交流、地域のこどもと活動する機会が設けられていない現状があります。	感染症予防の観点により、実施を控えたり、保護者の中には交流を望まない方もおり、交流の仕方について検討している状態でした。	感染症の状況を見ながら、少人数のグループで取り組む等の工夫や、内容を区別し交流する機会を設ける等、実施方法について検討していきたいと考えます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり水沢駅東 放課後等デイサービス

公表日 年月日 令和7年3月31日

利用児童数 年月日 令和7年1月6日時点 15名

回収数 15名中 13名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1		1	・1階、2階に分かれていて、クールダウンする為のスペースもあるので充分だ と思う。 ・集団が難しい息子に2階スペースを解 放してもらい感謝している。	お子様が毎日、どのようなスペースで過 ごしているのかを知ってもらえるような 機会を設けていきたいと考えます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2		3	・男性職員が増えて欲しい。 ・少ない職員数の中、対応が難しい息子 に手厚く対応してもらい感謝している。	基準よりも多く職員を配置しております が少ない印象を与えていることがわかり ました。毎日打ち合わせの中で、役割分 担をし協力体制で支援できるようにして おります。人事に関しては、法人全体に 関する事となる為、貴重なご意見とし報 告いたします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1		1		利用者の状態に応じ、構造化を検討し、 安心・安全に過ごせるような環境作り に努めていきたいと考えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1		1		お子様が安心して過ごせるような生活空 間作りを努めていきたいと考えます。
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	11	2				研修での学びや、自己研鑽に努め、専門 性のある支援提供ができるようにしてい きたいと考えます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	13					支援プログラムに合わせた支援内容が提 供できるよう確認しながら進めていきま す。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	12	1			自宅ではなかなか経験させられない事、 他の利用者、職員との関わりをさせても うらせてありがたく感じている。	利用者、保護者との情報共有を大切に し、ニーズに合わせた計画を作成するよ う努めていきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	11	1		1		ガイドラインに沿った支援内容の提供に 努めていきます。また、保護者へも分か りやすく説明をしていきたいと思いま す。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					放課後等デイサービス計画に沿った支 援に努めていきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	11	1	1			将来に向けて必要な取り組みに関し ては、定着に向け繰り返し実施し、その 他の活動は固定化されないよう意識して計 画を立てるよう、引き続き努めていきま す。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。			3	4	6	・コロナ禍になって難しくなったのか？ 近くの地区センターのお祭りには参加で きないのか？・色々な人と関わって欲し い。可能であれば交流して欲しい。・特 に交流は望まない。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	11	2					契約時や必要に応じて、丁寧に説明をす るよう努めていきます。
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	13						今後も、丁寧な説明を心掛けていきま す。
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	12	1				・ペアトレやペアレントメンターの講座 を定期的に行ってほしい。・ペアレント トレーニングも重要ですが、他になにか あるのならやってみたい。	法人全体や事業所での研修、他の場所 での研修について情報提供をしていきま す。
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	13						面談や送迎時の情報共有の時間を大切 にし、共通理解に努めていきます。ご要望 があれば時間を設けますので、お声がけ ください。



保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1			年に一回の面談を実施しています。その他ご要望に応じて時間を設けますので、遠慮なくお声がけください。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	3			保護者の悩みや困り感を丁寧に聞き、寄り添う姿勢を心掛けます。将来を見据え、お子様の成長について共に考えていきたいと思ひます。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3			・参加できず、すみません。・保護者交流会に夏が参加し、悩み共有、アドバイスをもらえて、素敵な時間であったという事を話していた。・保護者の交流の機会ありましたが、兄弟については分かりません。	感染症等の状況を見ながら、定期的に保護者や家族が集まれるような機会を設けていきたいと思ひますので、是非ご参加ください。きょうだい向けのイベント等は、実施しておりません。今後検討していきます。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1				日頃からコミュニケーションを大切に、お子様や保護者から相談があった際には、速やかに適切に対応するよう努めていきます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思ひますか。	13					・事業所での様子等を連絡帳やお話を通じて、ご報告下さり、本当に助かっています。様々な支援や実践は学ぶと工夫が多く、できるものについては自宅での関わりの中でも同様できるように努めています。	今後もそれぞれの利用者の理解度に合わせたスケジュール表や絵カード等を使用し、意思の疎通や情報共有ができるよう努めていきます。また保護者への引き渡しの際の申し送りや連絡帳の活用、必要に応じて電話でも情報共有していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	2	1			・更新が各事業所まちまちです。他の放デイのインスタもみて楽しんでいる。	今後も楽しみにしてもらえよう内容となるよう、工夫をしながら情報発信に努めていきます。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思ひますか。	12	1				個人情報の取扱いには十分に気を付けておりますが、配布物間違いなどがありました。チェック方法を再度確認し、十分気を付けていきたいと思ひます。	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1				各種マニュアルは玄関に配置しつつも閲覧できるようにしております。また、お便りやブログで訓練の様子を伝え、安心して預けられるよう努めていきます。発生を想定した訓練は年間計画に沿って実施しております。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1				・怖くも楽しみにして参加している。	万が一に備え、火災、地震、水害等の訓練を年間計画に沿って実施しております。また、その様子をお便りやブログで保護者へもお伝えしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思ひますか。	12	1				・お便りにヒヤリハット等記載し伝えられている。	事故やヒヤリハットが発生した際には、今後の対応もお便りで知らせるようになっております。再発防止に努め、安全にお預かりできるようにしていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思ひますか。	13					・何かあった時には迎え時等、説明されている。	発生した際には、詳細について電話や引き渡しの際等にご説明しております。今後も速やかに対応し、不安が湧かないよう努めていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1				・はい。・「小学校がいい」という事が多い。	お子様が安心して利用できるような空間作りや支援に努めていきます。また、お子様と信頼関係を深め、気持ちを伝えやすい関係性となるよう努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2				・2年目に入り、嫌がる事も少なくなってきた。・とても楽しみにしています。・「小学校がいい」と言う事が多い。	お子様が「楽しい」と感じて通所して頂けるよう、活動内容を工夫したり、要望等を聞きながら話しやすい雰囲気作りを努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	2				・満足しているが、以前のような土曜日利用を再開して欲しいです。・土曜日の預かり助かっています前の様に土曜日も復活して欲しい。・毎朝、自動車に乗り流ったりすることもなく向かっています。言葉はありませんが職員の方々の関わりは子供にとって大切なものになっているように感じています。	・土曜日の特小営業に関しては、法人とも協議しながら進めていきたいと思ひます。・お子様や保護者に満足して頂けるよう努めます。また、専門的な支援提供ができるようスキルの向上に努めていきます。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ひだまり水沢駅東 放課後等デイサービス				公表日	令和7年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	利用者の特性、相性などを考慮し、1階と2階を使い分け安心した気持ちで過ごせるよう配慮しております。支援スペースを区切り、各スペースで過ごす人数を分散し、伸び伸び過ごせる工夫をしております。	各フロアは、パーティションで区切られているが、音に過敏さがある方への配慮については、今後状況に合わせ、検討していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	利用者の特性、相性などを考慮し、基準を上回る職員配置を行っております。シフト作成の段階で適切な人数配置となるようにしております。	通常時には適切な人数配置ができておりますが、急遽の体調不良等の場合には、少なくなる日もある為、応援等により対応しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		各スペースごとに構造化し、利用者がわかりやすいよう表示しております。玄関前にはスロープ、室内はバリアフリーになっており、トイレには手すりもあり、車椅子の方でも利用しやすいよう配慮を行っております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		室内や車内は、毎日清掃を行い清潔を保つようにしております。また、定期的に消毒をし、感染予防対策を行っております。教材や玩具等は、整理整頓し活用しやすくなるよう工夫しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		要望に合わせ、室内を使うことが出来るようにしております。個室を用意し、集団が苦手な方の使用や、情緒面等に変化が生じた際の休憩、活動などに活用しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日の朝会や職員会議で、全職員が日々の支援を振り返る機会を設けております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者からアンケートにて意向を調査し、改善点などを職員間で話し合い、改善に努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	職員会議や朝会等で職員の意見を聞き取り検討しています。またその内容を業務改善につなげるよう努めています。	今後も機会を設け、業務改善に繋げるよう努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	現在実施しておりませんが、年1回第三者委員や顧問弁護士などへ報告する機会を設け、助言を頂いております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	ZOOMでの研修や、年間計画に沿って内部研修を実施し、職員のスキルアップに繋がるようにしております。	外部の研修にも積極的に参加する機会を増えるようにしていきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムを作成し、保護者にもプログラムを配布しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		日々の利用者の状態を観察し、アセスメントに基づき、保護者のニーズと照らし合わせながら、必要なニーズを職員間で話し合い、計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		支援に関わる職員全員で、利用者の困り感やニーズについて話し合い、共通理解の下で計画を作成しております。また、利用者の発達段階に合わせ検討を行っております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		全職員が、支援開始前には必ず支援計画を共有し、統一した支援を行うことができるようにしております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の支援内容を共通のツールに記録し、観察から得た気づきを活かすよう努めております。毎日の朝会で振り返りを行い、必要に応じて改善を行っております。	

適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに沿って、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」について、それぞれの利用者に適切な支援の優先順位をつけ、具体的な支援内容を設定しております。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		複数の活動担当が立案し、活動プログラムは職員全員で共有しております。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2	5領域をバランスよく取り入れ、発達段階に応じて様々な運動、経験を通し楽しみながら次の学びへ繋がるよう工夫しております。	同じ活動内容でも前回の取り組みを踏まえ、ステップアップを図る内容となるよう、今後も工夫していきます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個々の発達状況や特性に応じて、個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせ計画を作成し、支援しております。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援開始前に打ち合わせを行い、前回の活動の様子や利用者状況の確認や、当日の職員の動き方、支援内容について話し合いを行っております。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		当日または、翌日の朝会等で、職員間で振り返り、次回の支援に繋がるよう記録用紙に記入しております。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援内容の他に療養や体調等についても記録し、多面的な情報から検証や改善が出来るよう努めております。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		前期と後期にモニタリングを行い、取り組み状況について確認をしております。必要に応じて目標や具体的な支援内容の見直しを行っております。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		基本活動を意識して組み合わせ、支援を行うよう努めております。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		おやつ選びや余暇時間の遊び方、活動時の内容選択等、利用者の意思を尊重し、自己選択や自己決定をする機会が多く持てるよう工夫しております。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		管理者や児童発達支援管理責任者など利用者や家族の状況をよく把握している職員が参画しております。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		各関係機関と連携し、必要な支援提供をする事が出来るよう整えております。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		日々丁寧に情報共有を行い、連携を図るよう努めております。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		移行の際には、施設を訪問し情報収集する等し、連携を図るようしております。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		必要に応じて支援会議に参加し、支援内容について引き継ぎを行い、情報提供を行っております。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		必要に応じて助言や研修を受けるようしております。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			感染症予防等の観点により、実施出来ませんでした。今後関わる機会について検討していきたいと思っております。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		療育部会等で連携を図る機会を設けており、助言等を頂いております。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎の際や必要に応じて面談の機会を設け、状況について伝えあい、共通理解を図るよう努めております。	

関係機関や保護者との連携

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		法人全体の取り組みとして、家族等が参加出来る外部講師による研修会を開催しました。お便りや保護者懇談会を通して情報提供をしております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		運営規程や利用者負担等は、契約の際に説明をしております。支援プログラムについては、保護者へ説明し配布しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		定前面談の他、必要に応じて面談を行い、利用者やご家族の意向を確認する機会を設けております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援計画の説明は丁寧に行い、同意を頂いてから進めるようにしております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		家族等から悩みや相談を受けた際には、早急に時間を設け、面談を行うようにしております。また、日頃から情報共有を図り、信頼関係を深められるよう努めております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。	6		保護者会行事の配布文書は玄関に配置し、各保護者へ周知しております。事業所内で保護者懇談会を開催し、保護者同士で交流する機会を設けました。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情に対する受付担当者と責任者を配置しております。苦情があった場合には、迅速に対応するように努めております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月お便りの発行やHPを更新し、活動内容や日の様子について発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	2	職員間で周知し、お便りやHP掲載時等、十分留意しております。職員同士の会話においても配慮するよう努めております。	確認不足により、配布物の入れ間違いがありました。今後も複数人で確認するようにしていきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		それぞれの利用者、保護者に応じた意思疎通が出来るよう工夫し、配慮をしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		事業所に招待する活動は実施しておりませんが、老人施設を訪問したり、地域行事への参加や商店への買い物を通して交流しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルは玄関に配置し、いつでも閲覧できるようにしております。発生を想定した訓練は、年間計画に沿って、実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間計画と共に策定し、非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		事前に服薬情報等把握し、職員全体で情報共有しております。面談時には、予防接種状況を把握し、把握できるようにしております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者から情報を頂き、必要に応じてアレルギー検査書の提出を依頼しております。おやつを含め食事提供をする際には、職員間で周知し、対応をしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、職員で十分に検討した上で実施するようにしております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		送迎時や支援時の安全確保に関して、お便り等で保護者へ周知しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		当日や翌日の朝会で職員間で共有し、早急に原因や対策をSHELモデルにて分析して、再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		法人内で虐待防止委員会を設置しております。虐待防止に関する理解を深めるよう、研修にも参加しております。また、年に3回、人権擁護チェックにて振り返る機会を設けております。	

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	身体拘束を行う際には、法人全体で周知し、組織的な取り組みとなるようにしております。実施する際には、職員間で支援内容の見直しを行い、都度会議で検討しております。保護者には、都度説明しながら進めており、計画にも記載しております。	
----	--	---	--	--

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり水沢横町 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 17名
○従業員評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月24日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員が統一した支援を行う事でお子様が進む事なくルールを理解し、習慣化され成果に繋がっています。また、お子様への分かりやすさを常に職員で話し合って支援しています。	支援の中に様々な構造化を取り入れ、お子様にわかりやすく過ごしてもらうようにしています。部屋は活動や過ごし方により使い分けをし、お子様達へ伝えていきます。1人1人に合ったスケジュールを準備し、ひだまりでの過ごし方を見直しを持って過ごしてもらっています。統一した支援が行えるよう打ち合わせを毎日行っています。	毎日の支援の振り返りから、改善策だけでなく新しい取り組みを検討していきます。
2	褒めて伸ばす支援に取り組んでいます。職員と利用者の信頼関係の構築を高め、良い関係性で支援を行うことで「事業所へ行きたい！」と思ってもらえる事業所を心掛けています。また、褒める支援を行うことで自己肯定感を高めます。	課題の取り組みや活動等は1人1人に合った内容を計画し、取り組んでもらっています。「できた」を増やし自信に繋がるようスモールステップを意識して支援しています。	職員間のスキルを磨くため、内部研修・外部研修の機会を増やす取り組みの検討を行います。細かいアセスメントを行い、更に「できた」を増やしていきます。
3	保護者にはなるべく丁寧に支援内容についてお話するようにしています。また、悩み事があった場合は共に考えるようにしています。	お子様・保護者へ丁寧な対応を心がけています。(支援・言葉遣い・対応)保護者の悩みを聞いた際は一緒に考え、時に情報を収集し、情報提供しています。「共に育てる」を意識して対応するようにしています。	保護者との情報共有の時間を作り、話しやすい環境作りを目指します。お子様、保護者に悩みがあった場合に面談の時間を早急に作ります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今年度は職員体制の充実化への取り組みに課題がありました。職員間の体調不良時に保護者へご協力をいただく機会が増えてしまいました。	国で定める職員配置基準で運営しているものの職員の体調不良時等不測の事態に対応するシステム作りに課題の要因があると考えています。	職員が意欲的に働き、質を高められるよう職員の働き方の見直しや体調管理等に努めます。また、不測の事態の際の対応システムの検討を行います。
2	地域清掃や地域の商店の活用は積極的に行っていますが地域住民との交流をする機会を設けられていません。また、児童クラブや児童館との交流にも課題があります。	事業所として考えている課題の要因は感染リスク等を考慮してしまうと地域交流や児童クラブや児童館の企画が進めずにいる状況でした。	ひだまり水沢横町で企画を立て、交流する機会を作れるよう検討していきます。また、協力をいただけるよう関係機関との関係の構築に努めます。
3	評価表アンケートの結果から、事業所での取り組みを保護者や外部へ発信する力がまだ足りていないように感じます。令和6年度では毎月の通信(便り)やホームページなどに取り組み内容を発信し続けては、いるもののまだまだ、「わからない」「どちらともいえない」との回答が多くありました。	保護者1人1人に支援内容や取り組みを伝える方法に課題がありました。事業所での取り組みを実際に見て頂く機会やPRなどは個別でも対応する必要がありました。	便りの作成方法の見直しをすること、ホームページを作成している事へのPR、保護者1人1人へ個別に説明を行う事や見学の機会を設けるお声かけ、事業所でのイベントなどを検討し、事業所での取り組みや支援を広く知って頂けるよう努力します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり水沢橋町 放課後等デイサービス

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 令和7年1月6日時点

回収数 18名中 17名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	
						ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	3		1	・広々として元気に遊んでいるので良いと思います。 ・人数的には良いと思う。	特性に応じて、個室を使い対応しています。また、集団と個別の支援に応じて部屋を使い分けています。
	2 職員の数配置は適切であると思いますか。	8	6	1	2	・少ないかな... ・職員に体調不良者が出ると思いの外派遣派遣がなく利用者を少なくしなければならぬので、足りていないのでは？ ・見ている限りでは良いと思う。	職員の配置基準は遵守しているものの職員の体調不良が生じた際は保護者からのご協力をいただきました。今後は不測の事態が起きた際の対応システムを検討していきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2		1	・足が大きくなると下駄箱に上履きを入れづらい、長靴はいらぬ、小さい段差がある。 ・思う	今現在、長靴は玄関のある一部に置くようにしています。下駄箱に関しては状況に応じて検討していきます。段差に関しては基本バリアフリーになっています。車椅子の方でも安全にお預かり出来ます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2		1	・思う ・空気清浄機や加湿器の稼働状況が確認できない。 ・感染症対策でマスク着用しているが、息苦しく感じないか	・空気清浄機や加湿器は事業所内に設置してあります。今後、便り等でお知らせします。 ・ひだまりは数か所の学校からお子様ご利用されます。集団で生活している為、なるべくマスクの着用をお願いしています。難しい場合はご相談ください。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	3			・受けられていると思う	・今後専門性のある支援が行えるよう職員のスキルアップに努めます。また、丁寧な支援を心がけます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	2			・合っている。	・支援プログラムの内容は実際にひだまりで行っている活動や支援内容を記載しています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	2				保護者との面談や日頃からのお話を聞き、職員間でアセスメントを行い個別支援計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	2			・設定されている	報告書に併い、新しい様式での個別支援計画書となりました。ガイドラインに沿った内容で作成しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1			・思う	毎日の活動の他に基本的に週に1回以上は個別支援計画に沿った支援を提供しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2		1	・思う	毎月に活動内容は担当職員が5領域を組み込みながら、お子様たちが楽しめるような内容を検討作成しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2	3	8	・地区のことについて良くわからない。	放課後児童クラブや児童館との交流、または地域の他の子どもとの活動の機会を設ける事に課題があります。連携を回りながら、交流する機会を設けていきたいとします。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	2			・話を聞いた	契約時に説明をしています。また、今年度から公開する事になりました支援プログラムについては、ご利用に保護者へ配布し、ホームページにも公開しています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1			・ありました	必ず、個別支援計画の内容はご説明させて頂いております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2			・行われている	今年度、法人主催で外部講師を招き、保護者が参加出来るペアレントトレーニング研修会を開催しました。また、保護者へ便りを通じてペアレントトレーニングの説明を行い、保護者懇話会で情報提供を行いました。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	2			・毎日話している	利用時に保護者へ事業所の様子や支援内容をお話しています。また、連絡簿でのやり取りも毎日行っています。出来た事を伝え、お家で同じようにトレーニング出来るように方法について助言しています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2		1	・行われている	毎年、面談を行っています。また、保護者から直接、悩み相談を頂いた際には、早急に時間を作り面談を行うようにしています。また、相談員から悩み情報提供を頂く場合もあり、お声掛けをさせて頂き、必要な助言を行うこともあります。

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2	1	・よく声を掛けてくれ、本人が楽しんでいるので職員との関係が良いと思います。 ・思う	保護者の悩みやニーズはしっかりと聞き、一緒に考え支援をしています。共に考え、将来に向けて支援をし、お子様を伸ばしていきたいと考えています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	5	3	・ボーリング大会楽しかったと本人が言っています。忘年会、新年会しなかったのが残念。 ・されている	保護者会の活動内容を便りに載せ、配布文書は事業所入口に設置し、各保護者へ周知しています。また、保護者同士が交流できるように懇親会の機会を設けました。今後も続けて行きますので是非ご参加ください。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3	1	・いる	お子様やご家族からの相談に関しては早急に対応するようにしています。常に話しやすい関係性が築けるように努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2		・思う	障がいに対する研修やその保護者への支援に対して、内部研修を行い、対応が出来るようにしています。引き継ぎの際に申し送りを行い、連絡簿にて支援の詳細を記載しています。また、必要に応じ、電話等でお話をする事もあります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	3	2		毎月、事業所から月末に便りを発行し、事業所の活動内容や利用者の様子をお伝えするようになっています。また、お知らせやお便りも掲載し連絡や情報を発信しています。ひだまりのホームページもごさいますので是非ご覧ください。自己評価の結果は保護者へ配布し、ホームページでも公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1		・思う	定期的に職員へ周知し、個人情報の取り扱いについて、意識する機会を設けるようにしています。(朝礼・職員会議) また、内部研修でも取り入れ周知しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2	1	・マスク着用されているので安心です。 ・いると思う ・事業所内の点検(火災、電気、消防設備)についてわかりにくい、知らない。	事業所内の点検は定期的に外部の業者に依頼しています。また、定期的に職員間で点検や確認を行い、緊急時に対応出来るように訓練しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	1	・思う	年間計画と共に策定し、非常災害の発生に備え、活動に反映するようにしています。また、その訓練も行いうようにしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	2	1	・思う	避難訓練計画に関してはホームページに掲載している事を周知しています。また、訓練等の取り組みは連絡簿や便りでも発信しています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2	1	・説明している	事故が発生した場合は早急に対応、保護者へ報告をしています。また、必要に応じて県南消防局や市にも報告しています。事故やひやりはつが発生した場合、便りにも掲載しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	1		・本人が行きたいと言ってくれます。友達とのトラブルも減り助かっています。 ・いる	安心して通って頂けるように環境を整備し、リスクの管理を行い受け入れをしています。また、お子様の不安が無いように常に職員との信頼関係を築けるよう同わりを多く持つようにはしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	4		・本人が行きたいと言ってくれます。友達とのトラブルも減り助かっています。 ・行事などあれば楽しみにしている	お子様が楽しみに通えるよう、日々の活動を意欲的に取り組める内容での検討を行っています。また、アンケートボックスを設置し、お子様からのリクエストや要望を聞きなるべく叶えられるように努力をしています。難しい時には分かりやすく丁寧に説明をするようにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	2		・成長を感じられるのはひだまりさんのお陰です。有難うございます。 ・いる	お子様、保護者共に安心してご利用できるように信頼関係の構築に努めます。また、専門的な支援が行えるようにスキルの向上に努めます。



公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ひだまり水沢横町 放課後等デイサービス					公表日	令和 7年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	6		集団で過ごせる広い部屋があり、その他に利用者が使用できる個室が5部屋あります。部屋は構造化されており、どこで何をすることが分かるようになっています。	定期的に見直し、改善すべきところがあれば検討していきます。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		配置基準を遵守しています。利用人数で勤務者を決めています。保護者へ事前に利用予定表を提出して頂き、人数の多い日はサービス調整を行い安全にお預かりできるようにしています。	職員の体調不良等で職員が不足した際の対応システムの検討をしています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		各部屋ごとに構造化し、利用者がどこで何をすることが分かりやすく提示しています。完全なバリアフリーとなっており、トイレも広く車椅子の方でも利用しやすくなっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		常に換気しています。定期的に事業所内や玩具、室内の消毒を行っています。活動場面に応じて部屋を変えて支援しています。(運動、制作活動等)		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		集団が苦手な利用者や個別対応が必要な場面で個別の部屋を使用しています。利用者が申し出た場合、個室個別の部屋を提供しています。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎日の朝礼や職員会議、モニタリング会議等で職員に目標の周知、振り返りの話し合いを行いPDCAサイクルを実行しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		年に1回、保護者へ評価表アンケートをお願いし、保護者の声を真摯に受け止め、職員間で改善に向けて取り組んでいます。取り組んでいる内容は便りでお伝えするようにしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々、支援や業務に関する内容は職員間で話し合う機会を設け、業務改善に向け、全職員で丸となり取り組んでいます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		第三者による外部評価は受けていませんが苦情やひやりはっと、事故報告を第三者委員と顧問弁護士へ報告する機会を設け、助言を頂いています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		事業計画の中に研修計画を策定し、毎月の内部研修や外部による研修の機会を設けています。職員の経験年数に応じて研修へ参加しています。法人で行う全体研修もあり参加しています。		
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		事業所で作成した支援プログラムを保護者へ配布し、ホームページで公表しています。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		保護者が悩んでいる課題や近い将来必要なスキルの習得の為、利用者へ日々アセスメントを取り、課題整理し、児童発達支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童発達支援管理責任者を筆頭に職員間で放課後等デイサービス支援計画やモニタリングについて日々、検討しています。また、自己肯定感が高まるように資める支援を心掛けています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		放課後等デイサービス支援計画が職員間で共有できるよう、常に具体的支援内容を見える化し、朝礼等で再確認しながら支援を行っています。		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		法人で統一したアセスメントシートを活用しています。また、事業所内で個々に合わせた支援ツールを準備し、アセスメントに活用しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに沿って、提供すべき支援「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」を踏まえて放課後等デイサービス支援計画を作成し、都度利用者に必要な支援を行っています。		

適切な支援の提供

17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動プログラムは5領域を網羅するように工夫し、児童発達支援管理責任者を中心に職員がチームとなり立案を行っています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		活動プログラムは5領域をバランス良く取り入れ、日々利用者が意欲的に取り組める工夫をしています。事業計画の中にも季節に合わせた行事を入れ、計画通りにプログラムを作成しています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		それぞれの利用者の状況や特性に応じて、落ち着いた過ごし療育が受けられるように対応し、個別と集団での活動を行っています。また、個々に合わせた放課後等デイサービス支援計画を作成し、支援しています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝の朝礼で当日の支援内容について、打ち合わせを行い、それぞれの利用者に向けた支援ツールを準備しています。また、役割分担についても細かく確認して支援しています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		翌日の朝礼で必ず、支援の振り返りを行い、気付いた点や課題について、次に繋がるように支援の見直しや検討をチームで行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		利用時は必ず記録を取り、事業所の活動内容だけでなく、関係機関や家庭状況など細かく記録しています。また、記録を基に支援の検証をし改善策を検討しています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		前期後期とモニタリングを行い、計画の具体的な支援を実行しているか、利用者の目標達成度はどうかを検討しています。必要に応じて目標や支援の見直しを行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		「日常生活の充実と自立支援のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流の活動」「こどもが主体的に参画出来る活動」の4つの基本活動を取り入れ、意欲的に取り組める内容を複数組み合わせ支援しています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		クリエイティブデイ活動と称して、自分で選べ活動を取り入れています。また、工作活動では様々な廃材を自ら選び作るものを考え想像力を身に付ける活動やおやつバイキング等、楽しみながら、自己選択する力を身に付ける支援を行っています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		基本的に利用者の状況を良く理解している児童発達支援管理責任者、または担当者が出席しています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて、関係機関との連携を図り、情報共有を行いながら支援をしています。（行政、学校、保育、障がい福祉、医療）	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校とは常に送迎時や必要に応じて電話等で連絡の共有を図り、連絡の調整を行っております。事業所への見学や学校見学等も行い、連携を密にするようにしています。長期休み中の宿題の取り組み様子も伝え、今後の取り組みに向けて共有しています。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		相談員を通じて、事業所利用前に保育所や幼稚園に訪問し、様子を聞き取りに行くようにしています。何かあれば、連絡を取り合い情報を共有しています。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		移行支援会議に参加し、事業所での取り組みや本人の強み、ADL等を記録した物を情報提供します。対応についても卒業後も必要があれば情報提供するようにしています。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		自立支援協議会の療育部会等でも連携を図る場を設けています。また、必要に応じて支援会議を設け、助言を頂いております。研修もあり参加しています。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		放課後児童クラブや児童館との交流、または地域の他の子どもとの活動の機会を設ける事に課員があります。連携を図りながら、交流する機会を設けていきたいと思っております。	地域のお子様との関わりがもてるよう学校や放課後児童クラブ・児童館との連携を検討していきます。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		自立支援協議会の療育部会に参加し、情報共有や勉強会、意見交換会に参加しています。	

関係機関や保護者との連携

34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		利用時に保護者へ事業所の様子や支援内容をお話しています。また、連絡帳でのやり取りも毎回行っています。出来た事を伝え、お家でも同じようにトレーニング出来るように方法について助言しています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		今年度、法人主催で外部講師を招き、保護者が参加出来るペアレントトレーニング研修会を開催しました。また、保護者へ便りを通じてペアレントトレーニングの説明を行い、保護者懇親会で情報提供を行いました。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明をしています。また、今年度から公開する事になりました支援プログラムについては、ご利用に保護者へ配布し、ホームページにも公開しています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		計画を立てる際は保護者と面談を行い確認しながら進めています。また、モニタリングの際も聞き取りを行っています。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		支援計画の説明は必ず行い、同意を得てから進めています。同意のサインも頂いています。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者から直接、悩みの相談を頂いた際には、早急に時間を作り面談を行うようにしています。また、相談員から悩みの情報提供を頂く場合もあり、お声掛けをさせて頂き、必要な助言を行うこともあります。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		保護者会の活動内容を便りに載せ、配布文書は事業所入口に設置し、各保護者へ周知しています。また、保護者同士が交流できるように懇親会の機会を設けました。今後も続けて行きますので是非ご参加ください。	
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情解決窓口を設置し、苦情を申し出る際の流れ（苦情受付担当者→苦情解決責任者→第三者委員会→岩手県福祉サービス運営適正化委員会）を事業所内の保護者が見える場所にポスターを張り出してしています。また、便りに掲載しています。苦情の申し出があった場合は迅速に対応出来るよう心掛けております。	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月、事業所から月末に便りを発行し、事業所の活動内容や利用者の様子等をお伝えするようにしています。また、お知らせやお願ひも掲載し連絡や情報を発信しています。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		定期的に職員へ周知し、個人情報の取り扱いについて、勉強する機会を設けるようにしています。（朝礼・職員会議） また、内部研修でも取り入れ周知しています。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		障がいに対する研修やその保護者への支援に対して、内部研修を行い、対応出来るようにしています。引き渡しの際に申し送りを行い、連絡帳にて支援の詳細を記載しています。また、必要に応じ、電話等でお話をする事もあります。常にお話のしやすい環境を作るようにしています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		活動では地域の商店での買い物や外食をする機会を設けるようにしています。また、定期的に地域清掃を行っています。（ゴミ拾い・草取り）	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各マニュアルは、保護者がいつでも見られるように事業所出入り口付近に設置し、便りでも周知しています。発生した際の訓練や勉強会を実施しています。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		年間計画と共に策定し、非常災害の発生に備え、活動に反映するようにしています。また、その訓練も行うようにしています。	
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用前の面談時に母子手帳を持参していただき、予防接種の確認を行っています。また、服薬状況や既往歴については詳しく聞き取りを行い、記録しています。	
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーに関しても利用前の面談時に聞き取りを行い、必要に応じてアレルギー検査書の提出をお願いし、対応しています。	

非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を実行し、リスクマネジメント研修等必要な研修に参加し訓練を行っています。危険箇所があった場合は、職員間で検討し対策を講じています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画に関してはホームページに掲載している事を周知しています。また、訓練等の取り組みは連絡帳や便りで発信しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ひやりはつどが発生した際は早急に対策について話し合い、対応しています。広い視野を持ち検討出来るようにSHELモデルを用いて検討するようにしています。ひやりはつどと対策については便りで保護者へ周知しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		事業所毎に委員を設置し、法人内で委員会を開催しています。また、法人内で研修の機会を設け参加しています。年に3回人権擁護フェックに取り組み支援の振り返りを行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束を行う際は法人全体に周知し、対応するようにしています。また、身体拘束を行う際は、都度支援の見直しを行う為、会議を開き検討するようにしています。保護者にも都度説明を行いながら進めます。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり胆沢（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年1月16日		～ 令和7年1月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	構造化により利用者に視覚によりスケジュール等が確認できており、安心して活動している。	ホワイトボードにスケジュール等を表示し、利用者が視覚的に確認できている。	利用者が来た際に、声掛けをし、スケジュールを確認するという工程を定着させる。
2	利用児童の発達段階に応じた課題が設定できている。	アセスメントをきちんと行った上で、課題の設定を行っている。	毎日の支援内容を振り返った上で、翌日以降の支援に反映できるようにし、課題についても見直しが出来るように対応していく。
3	利用者一人ひとりに個別の支援が確実に行われている。	職員の利用者の活動担当を決めた上で、支援を行っている。	利用者が安全に活動できるよう、職員が確実に見落とさないようにするとともに、職場内外の研修に参加しスキルアップを図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が掲示しているマニュアル及び非難訓練等の実施が、保護者に知れ渡っていない。	帰りのお迎えの時に説明し、その旨を連絡帳に記載したり、月1回のひだまり通信で避難訓練の様子を写真を入れて掲載しているが、もう一歩踏み込んで説明することが必要。	非常時の発生に備えたマニュアルの確認、訓練、連絡網の確認を確実にを行った上で、保護者に積極的に情報を発信し情報共有を図る。実際に行った様子の写真を玄関口に張り出す等の視覚化を行い保護者の迎えの際に説明する。
2	保護者参加の行事の周知が遅れている。	新たな行事等で内容を吟味していたため、周知が遅れた。	保護者対象の行事は、参加しやすい内容とし、一月以上前に連絡し周知を図る。 週1回利用の方への連絡が遅れがちなので直接電話等で連絡し周知を図る。 内容充実のため、職員のスキルアップを図る。
3	個別の部屋が確保できないなど、活動のスペースが限られる。	借家のため、構造的にスペースを変更できない。	成長段階、活動内容に応じた場所の設定を常に考え、パーティションで仕切りをつけるなどの配慮が必要である。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ひだまり園児 (放課後等デイサービス)

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 2025/2/1

19人

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	1		・各自座る席や活動場所が決まっているようです。 ・以前よりもスペースを考えて配置して下さっていると思います。利用が多い時は大変そう??	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	4		5	職員の方々が人手が足りないと感じていないのは適切だと思います。	国の配置基準は、利用者10名に対して児童指導員等直接処遇職員2名のところ、ひだまり園児では3.5人配置していることを契約時やひだまり通信でお伝えする。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2			我が子にもわかるように何度も声掛けをして下さったり、ホワイトボードにわかりやすくしているようです。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1			清潔な環境だと思います。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1			・対応されていると思います。 ・以前よりも良いと感じています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		1	毎日の活動の内容が決まっているので合っていると思います。	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				我が子に合った支援をしていただいています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1			様々な作業や日々の生活に必要な支援のおかげでできることが増えてきております。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			1	出来たが増えて嫌がらずに通ってくれております。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2		2	固定されていた方が安心する場合もあると思います。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	6	3	・必要性を感じないです。 ・本人が利用に居たらないため。 ・特に必要と感じない。	実施の際には、利用者が希望すれば参加するという方針で検討する。
保護者への	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	2			説明されました。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1			説明されました。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3			・あると思います。 ・あった場合でも、仕事をしている為、早目の連絡(1ヶ月前など)を希望します ・利用減の中、情報の共有等親身な対応に感謝しております。	家族に対する行事の連絡は1ヶ月前に周知する。特に利用回数が週1回等、紙ベースで周知する時間がない保護者様へは直接電話したり利用時の連絡帳に記載し周知していく。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	3			・毎日の迎えの際に、学校の先生の言葉やその日の出来事報告して頂いています。 ・家での様子がいつもと変わらないと書かない事が多いため。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1			親身になって支援していただいています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2			親身になって支援していただいています。	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3		4	今年度同様、保護者交流会を開催する、兄弟支援については県下等での開催情報をキャッチし保護者に情報提供する、職員も参加し自事業所の開催に向けて取り組んでいく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	4		1	急に予定日じゃない日をお願いしたいと申し出たときにもこころよく対応いただいた。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1		1	出来事への報告はもちろんですが、困った事でも子を理解した説明の為嫌な気分はないです。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2			ひだまり通信楽しみです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1			具体的にはよくわかっていない所もあります。マニュアルについては、玄関先に冊子を添え置きしているが、分かりやすいように別途周知する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	2			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2		2	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1		2	・笑顔で通ってます。 ・学校でもひだまりさんの事を見つくと車がいなくなるまで見ているので乗りたいたんだなと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	3		2	・楽しく参加しています。 ・夏休み冬休みはひだまりさんと過ごすことを楽しみにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	2			・楽しく過ごしているので帰りたくない時もありました。 ・いつもありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひだまり胆沢（放課後等デイサービス）					公表日	令和7年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		扉で仕切られるスペースに着替えの場所として使用する他特性に応じて個室として使用する等配慮しながら環境調整を行っている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		子ども達が長期休暇等の際、早番をつけるなど、早番退勤後の体制が少人数になるが、協力し合い適切に対応している。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		構造化により、プレイルーム、食堂、学習スペース等の環境設定を行っており、バリアフリー化されている。トイレは車いすのまま入れないが、手すりが付いており段差もない。小上がりに上がる際、おりる際には声掛けをして支援している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清掃、消毒等はチェックリストに記入し徹底している。活動内容により机やイスの配置を工夫し環境調整を行っている。			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	仕切り、パーティションを使用しながら、利用者の特性に応じた場所の確保を行っている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		朝会、職員会議等情報共有し、全スタッフで意見を出し合い、実行し振り返りを行い支援している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価結果をスタッフで共有し、課題を感じられる項目については、改善案を出し合い業務改善の努力をしている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		朝会、職員会議等で意見をだしあい、児童を中心に改善に繋げている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		内部監査は受けているが第三者による外部評価は実施されていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		必要に応じた外部研修への参加、及び年間計画に沿った内部研修を実施している。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		5領域との関係性を明確にした支援プログラムの作成を行い、ホームページで広く公表している。			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントから課題を整理し、保護者からの意向をうかがいながら作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童が中心となり計画作成を行っているが、全スタッフに計画案について目をとってもらい検討した上で、共通理解を図っている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員会議、又は日々の支援の中で、お互いに意識し共有しながら支援を行っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		事業所内で使用しているアセスメントシートを用いて特性を理解し、日々の行動観察を行いながら職員間で情報共有をしている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		親からの聞き取りや普段の様子やケース記録を基に、ニーズに合わせた支援内容を設定するよう努めている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動立案の担当者を月毎に決め、2人1組で順番に行い、職員会議で活動内容の周知をしている。			



援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	状況やメンバーに応じて個別又は集団プログラムを組み合わせて提供している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	個々の課題やニーズに合わせて作成し支援している。集団活用は遊びを中心とした活動の中での支援計画を作成し支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	毎朝朝会にてその日の支援内容と役割分担について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	支援終了後は難しい為、翌日の朝会にて共有している。又、気付いた点等は職員連絡帳に記録し、その日公休の職員にも伝えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	個別の連絡帳に記録し、特記は別の記入欄に記録して必要に応じて支援の振り返りを行うことができるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	年2回行っており、適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	活動計画の中に適宜組み込む又は日々の中で意識し支援している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	毎日の活動の中に、自己選択を目的とした内容を組み込む等、工夫をし支援している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	児発を中心に、必要に応じて主に支援する担当者も併せて出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	必要に応じて、保育、教育等の関係機関との支援に対する情報共有の体制をとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	毎日の送迎時に細かくやりとりをしている。行事、下校時間の変更、迎え時間変更の協力等も都度連絡をとりあっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	必要に応じて情報共有をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	今年度卒業の方がいる為、その際には必要に応じて移行支援会議等を通じて情報共有を行う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	必要に応じて相談員を介し、支援の助言や情報共有が出来る機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		交流に積極的ではない保護者もいる為慎重に対応している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	機会があれば可能な限り児発を中心に研修会等へ参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	迎え時、その日の様子について丁寧に伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	5月に研修を行った際は、保護者へお知らせを配布し、広く情報提供を行った	今後、ペアレントトレーニングについて職員のスキルアップが必要である。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	相談からの情報提供計画も参考に、ニーズや課題について統一した内容とした支援計画作成を行い同意を頂いている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	対面にて説明を行い同意を得ている。不明な点や確認があった際には、児発が対応し都度説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	日常の中で悩みを共有し、助言を行っている。又、必要に応じて個別に面談を行う等の対応をしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		きょうだい同士の交流の機会は設けていないが、保護者懇談会の開催を企画し交流の場の提供をしている。又、おたよりにて保護者会からのおしらせを掲載するなどのお手伝いをしている。	県下等の兄弟支援の情報をキャッチし保護者に伝えていく。月初に情報検索を行う。また、職員が実際に参加し自事業所でも開催できないか検討していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情受付窓口を設置し、担当者を中心に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月1回のおたより発行、又は法人の広報誌、HPにて情報発信をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		マニュアルに基づき留意している。写真掲載に関しては保護者から同意を頂いている。年4回人権擁護チェック表にて振り返りを行う	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		特性に応じて、文字、絵カード、ジェスチャー等を組み合わせ伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	6		地域の芸術祭への出展や、地域の高齢者施設の訪問等、可能な範囲内で事業運営を図っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		訓練に関しては計画に沿って年4回行っている。各マニュアルに関しては、玄関に常備し保護者が確認、周知できるようにしている。	訓練の様子等はひだまり通信でつたえているが、玄関口に訓練の写真を張り出すなど視覚化し周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	5		BCPの策定は行っているが、計画に沿った訓練はこれからである。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		利用開始前に、定期通院、服薬、発作等の確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者への聞き取りにより配慮を必要とする場合は対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		計画に沿った訓練、研修及び必要に応じて外部の研修にも参加している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		マニュアルに沿った対応を行い、緊急時には提出を頂いた緊急連絡先へ連絡することを確認している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		朝会及び職員会議等で共有し、早急に対応策を検討し、実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		内部研修、全体研修の実施、年4回の人権擁護チェックを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		6		今年度対象となる利用者はいない。	

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひだまり水沢☆きらり 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

## 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重症児、医療的ケア児に特化した事業所である為専門職からの話を聞くことが出来る。 又、送迎時保護者の方には時間をかけて情報提供しています。	小児科医、理学療法士、看護師からの話は常に学校の先生、事業所職員、保護者の方と情報共有している。 それにより個人に合った身体へのアプローチ、又個別支援計画にそった活動を行っている。	専門職の先生たちの来所時には親御さんに声をかけ今よりも事業所に来ていただくようにしたい。 職員、保護者ともに先生たちのお話を聞く機会を設けたい。 職員のよりレベルアップを図りたい。
2	多職種連携が出来ている。	行政福祉課、療育センター、岩手医科大学等多職種の方と情報交換している。 学校、ご家族には送迎時支援内容を話し共通理解を図っている。	多職種の方達と支援会議等、情報交換をこまめにし職員間でも情報共有します。
3	個々にあった手厚い支援が受けられる。	個人の能力が引き出せるよう個人個人に時間をかけている。 スケジュール表やタイマー等も活用し支援をしている。	今まで以上に5領域に沿った総合的な支援を目指しより多くの経験を積み成長を促します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の仕方、説明不足を感じた。	「どちらともいえない」「分からない」の項目にチェックされている回答が多かった。又、非常時等の対応の項目も説明不足を感じた。	毎回、保護者の方には丁寧な話と情報交換が必須と考える。 避難訓練、災害時避難についてもお便りとお手紙等で丁寧に情報発信していかなくてはいけないと考える。
2	放課後児童クラブ、児童館、地域との交流はしていない。	感染症が怖く全くやっていない 買い物、散歩等で地域の方々とあいさつは積極的にしているが交流となると違うものと考えている。	感染症の様子を見ながら交流のやり方を工夫する必要があると考える。
3	保護者同士の交流の場が少ない。	ここ何年かの感染症の広がりに関し様子を見ながら少しずつ事業所内で集まっている。	今後、今まで以上にご家族で楽しめる事を企画したい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 ひだまり水沢☆きりり

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数 令和7年1月1日 8名

回収数 8名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7			1		150%の利用定員になる場合には、狭く感じることがあり、多目的ホールや指導訓練室等をうまく利用しながら物品の収納をごまめに行い、子ども達が安心して過ごせる適切な空間作りをしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1				段差がある場所はありませんが、マットを敷いている為、その段差に気をつけなければならぬ場面もあり、子ども達の見守りを強化することで改善できると考えます。
	4 生活空間は、霜降で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7			1		清掃、消毒、換気は毎日行っています。それと同時に記録もとっています。活動に見併せて部屋を変えるなど臨機応変に活動に取り組んでいます。今後も子ども達が安心して過ごせる環境作り、安全第一の活動を心掛けていきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に依じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1				こどもの特性を保護者様としっかり情報を共有しながら保護者様に寄り添った支援をしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		1	1	6	●その特たまたま利用していないのか、交流する機会はありません。	健全者の子ども達との交流に関しては慎重な考えの保護者も多く、活動の機会を見併せています。今後は保護者の意向に添いながら計画を立てていきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1				契約時に運営規定や利用者負担については説明をしていますが、今後はモニタリング等の面談時にも改めて説明をしていきます。支援プログラムはガイドラインに沿って掲載しており支援に必要な項目を適切に設定しております。保護者さまへも説明をし支援プログラムをお渡ししておりますが、今後更に詳しくわかりやすい説明をし保護者様に理解して頂けるよう努力していきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	1				個別支援計画には相談支援事業所の指導計画も掲載しており、保護者様へはモニタリング、前期・後期の個別支援計画を面談して説明させて頂いております。今後は保護者様に納得して頂くように丁寧な説明をしていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8				●音楽療法や動作法訓練等、子どもが行っている事を親も体験できると嬉しいです。	音楽療法はクリスマス会に療法士の先生を招き保護者様やきょうだいの声も掛けております。動作法訓練やリハビリについても保護者様が体験できるような企画をしていきたいと考えます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができてきていると思いますか。	8				●帰宅時にきりりの様子を説明して頂けて助かります。	今後も保護者様に寄り添いながら丁寧な説明を継続していきます。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7			1	●子育てに関する助言などの支援はない。	送迎時または改めて時間を設け、聞き取りの機会を作り保護者様からの悩みや相談には出来る限り傾聴し支援を心掛けています。医療的ケア児や発作がある児童に関しては看護師が聞き取りを行い必要な助言をおこなっています。今後も保護者様に寄り添いながら丁寧な説明を継続していきます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7				1	保護者会からのお知らせ等は事業所で配布しています。スプリングコンサートやクリスマス会を企画し、保護者様やきょうだいにも参加を促し保護者同士の交流の場を設けています。今後は定期的に保護者同士の茶話会などを企画して更に交流を深めていこうと考えています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1				保護者の意見・要望は最大限受け入れる態勢を整えています。難しい場合には何故できないかを丁寧に説明し納得して頂いています。苦情に関しては苦情受付担当者と責任者を配置し毎月のお便りにも掲載しています。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8					●ホームページをあまり見ていないので見るようにしたいと思います。 ●☆きらりだよりはいつも楽しく見えます。	
	22	個人情報取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	8						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1		玄関先にいつでも閲覧できるようにマニュアルを配置しています。面談時にはマニュアルについても保護者へ丁寧な説明をするよう心掛けます。職員間では職員会議でマニュアルの読み合わせをし周知し、すぐに動けるようになっていきます。今後は、防犯の発生を想定した訓練を実施し、子ども達の見守りを強化します。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6				2	●避難訓練は子どもがいつも楽しみにしています。	地震・火事・水害を想定し、年4回の避難訓練を実施しています。水沢☆きらりは災害があった場合の避難場所になっています。今後、保護者へも水沢☆きらりが避難場所になっていることを周知して頂くよう普段から情報を共有していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1			1	●床が滑りやすそうで心配。	床は毎日掃除をしていますが、ワックスなどは塗っておりませんので、滑りにくいと考えます。今後は保護者様にも確認をして頂くようにしていきます。重症児・医療ケア児は看護師が保護者から聞き取りを行い、安全に支援できるよう職員間で情報を共有しています。誤嚥など危険がある児童やてんかん発作がある児童に関しては、記録をとり情報を共有した中で支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7				1	●あまり怪我をしないので分かりませんが、しっかり対応して頂けると思います。	起こった場合には報告書を必ず作成し、保護者へは丁寧に説明しています。何故起こったのかを職員で検証し、反省点を踏まえ、同じ事が繰り返されることのないように職員間で注意し見守りを強化するよう努めています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8					●本当にいつも楽しみにしています。	とても良い評価を頂き、職員一同嬉しく思います。今後も子ども達が安心して過ごせる場所になるよう一層努力していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8					●いつも楽しみにしています。 ●今後もできる限り利用させて頂きたいです。	とても良い評価を頂き、職員一同嬉しく思います。今後も一層努力していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8					●予定を把握して行動する癖がつき、見通しを持って動いてくれるようになります。 ●いつもありがとうございます。	とても良い評価を頂き、職員一同嬉しく思います。今後も一層努力していきます。

公表

## 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		公表日				
ひだまり水沢☆きらり 放課後等デイサービス		2025年 3月 31日				
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	●150%の利用定員になる場合には狭く感じることがあるが、多目的ホールや指導訓練室等を物品の収納をこまめに行い、うまく利用している。	●車椅子やバギーを使用している児童が多いため部屋を分け、児童の行動パターンを予測し、子ども達が安心して過ごせる適切な空間作りをしていく。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	●150%の利用定員になる場合には、常勤職員全員配置している。	●介助を必要とする利用児童に対し、常勤5人の職員では利用児童に対して不便をかける場合もあり、職員の疲労もある。子ども達の見守りを強化し、職員の休憩時間を確保することが課題である。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	●全ての部屋がバリアフリーになっている。 ●定期的に設備・危険箇所点検を行い、安全に過ごせる環境作りをしている。	●段差がある場所はないが、マットを敷いている為、その段差に気をつけなければならない場面がある。子ども達の見守りを強化することで改善できると考える。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	●清掃、消毒、換気は毎日行っており、記録表を準備し記録している。	●今後も毎日の記録をとり、心地よく過ごせる環境づくりを心掛けていく。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	●子ども達の状況により部屋を使い分けられる環境になっている。	●今後もおもちゃで遊ぶ部屋や午睡で休む部屋など区別し、体調が優れない子は個別に休めるよう部屋を区別していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	●朝礼や職員会議で話し合い、児童の様子を職員間で共有しながら、都度振り返りを行い、児童一人ずつの共通理解を図り、支援につなげている。	●今後も都度の振り返り、問題が出た場合には早急に話し合いの場を設け、子ども達が安全に過ごせるよう努めていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	●年1回の保護者向けアンケート調査を行い、結果については職員間で共有し業務改善に努めている。	●常に保護者とは情報共有し、要望・意見は出来る限り聞き、業務改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	●朝礼時や職員会議などに話し合い業務改善に努めている。	●今後も職員の意見など都度話し合いを続け、業務改善に努めていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	●内部監査を受けている。	●指摘事項はないが、改善すべき所は都度、職員間で話し合い改善していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	●様々な研修を受講する機会がある。 ●研修を受けた者が事業所内研修で伝達をしている。	●機会は確保されているが、朝からの利用児童が多い場合、受講するのが難しい場合がある。 ●全員参加で研修を受けることは難しいが、重症児・医ケア児の研修は曜日を変えて受けるように努力している。
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	●ガイドラインの発達5領域や子どもの発達段階に合わせ職員間で話し合い適切に作成されている。 ●保護者へも面談時に説明し、個別支援計画と一緒に渡している。	●今後も子ども達の発達段階に合わせ職員間で話し合い適切に支援プログラムを作成していく。都度、保護者へは支援プログラムの丁寧な説明をしていく。	
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	●一人ひとりの子どもが現在どのような状況なのか、現在支援するべきことは何なのかを職員間で話し合い、支援計画を作成している。	●今後も子ども達の今の状況を把握し、保護者のニーズも踏まえて、安全に過ごせる支援を心掛け継続していく。	
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	●関わる職員そして看護師や理学療法士の意見も聞きながら、子どもにとって最善の利益を考慮した検討が行われている。	●主体的にならないように職員全員で5領域を念頭に作成していく。	
14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	●それぞれの個別支援計画を書き出し表にして張り出している。 ●週に1度は必ず活動に個別活動を入れ、余暇の時間にも計画に沿って支援している。	●今後も5領域を必ず取り入れる取り組みを継続していく。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	●気になる行動は個別特記として記録している。その中で行動が気になる利用児童に関してはスケジュール等のツールを使用し日々行動を観察し記録を残している。	●スケジュールにSSTを組み込み取り組むことなど、日々の行動観察を記録にとり、職員と情報共有、確認することを今後も継続していく。	

適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	●ガイドラインに沿って支援プログラムに掲載している支援に必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容を掲載し、保護者へも説明している。	●今後も支援プログラムの具体的な支援内容に取り組みよう努力していく。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	●専門的支援方法については動作法やストレッチを強化し支援している。	●重症児・医ケア児の為に職員が療法士より教示を受け、日々動作法やストレッチをしており、今後も継続していく。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	●リハビリ、動作法訓練等固定化しているもの以外は、本人支援として様々な経験ができるよう工夫している。	●活動が利用児童にとって楽しくそして様々な経験ができるよう継続していく。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	●集団活動と一人ひとりのリハビリ等を組み合わせ支援している。	●身体面や発達面で違いがある為、職員間で話し合いをし、全員活動に参加できるように工夫支援している。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	●朝礼で毎朝打ち合わせを行い役割分担の確認を行っている。	●気になることがある場合には、その日のうちに話し合い情報共有をし、チームで連携して支援を行っている。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	●気づいた点は必ず職員連絡帳に記入し、気になる事がある場合には、その日のうちに話し合いをしている。	●児童の健康状態やケアに関する事は必ず職員で共有している。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	●個人の連絡帳や職員間の連絡帳、また保護者からの情報などについても記録を取るようにし、必要に応じて支援の検証・改善を行っている。	●今後も気になる事は必ず記録を取り、子ども達にとって良い支援に繋げるようにしていく。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	●PDCAサイクルに沿って年2回のモニタリングを行い、適切な見直しを行っている。	●モニタリングは保護者へ説明し振り返りを行い、保護者の意向も踏まえ放課後等デイサービス支援の計画を見直している。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	●毎日の活動の中には多様な遊びや体験活動、そして動作法訓練やリハビリ等を取り入れて日常生活の充実と自立支援の取り組みを行い、一人ひとりの個性性に配慮しながら、子どもに寄り添った支援を行っている。	●重症児・医ケアの子どもの場合は感染症に罹患した場合に重症化になるため、現在は地域交流の機会の提供はあえて行っていない。医ケア部会の遊びに有志が参加する程度である。今後は子ども達の体調を考えながら地域交流の機会ができるよう努める。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	●毎日の活動の中で自己決定する力を育てる支援を行っている。重心児・医療ケアの子どもの場合は自己決定ができるよう職員が選択肢を与え目で追う物・ツール等を使用、自己決定を促している。	●今後も視覚支援等のツールを準備し、自己決定する力を育てる支援を継続していく。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	●児童発達支援管理責任者と場合によっては看護師が参画している。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	●医療に関しては保護者からの理由が多いが、必要時は必ず協力体制を取り、対応している。連絡体制は整えている。	
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	●常に学校との情報共有はしている。医ケア児童の場合には送迎時に学校の看護師と1日の様子の情報共有をしている。また気になる利用児の情報等は早急に連絡を取り情報を共有している。	●医ケア児の送迎には看護師を配置するよう努めている。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	●利用児童の併行通園していた保育園や幼稚園とは連絡を密に取り、情報共有をしている。	●今後も伝えていかなければならない内容等は情報を提供し、相互理解に努める。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	●卒業生がいる場合はきちんと情報共有もし保護者の相談にもものっている。移行支援会議にも参画している。	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	●地域自立支援協議会、医療的ケア児等支援部会の部会長として管理者が参加している。自立支援協議会、療育部会情報交換会に児発管が参加し、職員と情報共有している。	●今後も地域の情報交換会に参加し、スーパーバイズの助言等を受け、地域との連携を図っていく。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	●健常者の子どもの連との交流に関しては慎重な考えの保護者も多く、活動の機会は見せている。	●今後は保護者の意向に添いながら計画を立てていく。
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	●地域自立支援協議会、医療的ケア児等支援部会の部会長として管理者が参加している。自立支援協議会、療育部会情報交換会に児発管が参加し、職員と情報共有している。	●今後も情報交換会には積極的に参加し、情報を職員と共有し、支援に活かしていく。

関係機関や保護者との連携

保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	●連絡帳に日頃の状況を伝えたり、送迎時などにその日の様子を口頭で伝え保護者からも話を聞いている。	●今後も積極的に関わりを持ち発達状況や課題について話し合いをし共通理解をしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	●重症心身障がい・医療的ケアに対しての悩みや相談に関しては当事者でもある管理者が対応し支援を行っている。	●今後も職員としての専門性向上のために研修等に参加して理解を深めていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	●契約時には説明をしている。なるべくわかりやすく説明するように心掛けている。	●今後も保護者に疑問点や質問があればその場で回答、解消できるように努めていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	●子どもの最善の利益を最優先に考え、保護者の意向を確認し、個別支援計画を作成している。	●今後も保護者の意向を確認しながら子どもの最善の利益を最優先に考え、保護者と話し合いの場を設け作成していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	●年2回のモニタリングを行い支援計画の見直しをし、保護者とは必ず面談の機会を設け説明し、同意を得ている。	●今後も丁寧な説明を心掛ける。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	●送迎時または改めて時間を設け、聞き取りの機会を作り保護者からの悩みや相談には出来る限り傾聴し支援を心掛けている。	●医療的ケア児や発作がある児童に関しては看護師が聞き取りを行い必要な助言をおこなっている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	●保護者会からのお知らせ等は事業所で配布している。スプリングコンサートやクリスマス会を企画し、保護者や兄弟にも参加を促し保護者同士の交流の機会を設けている。	●今後は定期的に保護者同士のお茶会などを企画して交流を更に深めていこうと考える。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	●保護者の意見・要望は最大限受け入れる態勢を整えている。難しい場合には何故できないかを丁寧に説明し納得して頂いている。	●苦情に関しては苦情受付担当者と責任者を配置し毎月のお便りにも掲載している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	●毎月1回きりだよりを発行している。在宅の利用児童にも必ず発送している。HPにも活動の様子や行事の様子は必ず掲載している。	●契約時に広報誌・HP（氏名・写真・年齢）に掲載することについて同意書に「同意します」との署名を頂いている。「同意しません」の場合は掲載を控えている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	●個人情報には常に注意を払うように心掛けている。	●個人ファイルは鍵付きの書庫にファイルしており、職員以外が閲覧できないようになっている。
非常時等の対応	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	●重症児・医ケア児の場合にはお話できる子は何を望んでいるのか、自分が話せるまで待ち、お話ができない子は表情や体の動きを見ながら、何がしたいのかを職員間で共有しながら支援している。	●保護者には言葉使いに配慮しながら、丁寧な説明をしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	●水沢☆きらりの児童達は風邪でも重症化する児童が多いため、感染症が心配され今現在は控えている。	●地域にはお知らせ版や広報等を配布し、開かれた事業運営ができるよう努めていく。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	●玄関先いつでも閲覧できるようにマニュアルを配置している。面談時にはマニュアルについても保護者へ説明をしている。職員間では職員会議等でマニュアルの読み合わせをし、周知している。	●マニュアルは周知し、すぐに動けるようにはなっているが、防犯の発生を想定した訓練を実施できるように努めていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	●地震・火事・水害を想定し、年4回の避難訓練を実施している。 ●水沢☆きらりは災害があった場合の避難場所になっている。	●今後、保護者へも水沢☆きらりが避難場所になっていることを周知して頂くよう普段から情報を共有していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	●重症心身障がい・医療的ケア児を預かる事業所なので服薬やてんかん発作等の状況はとても大事な事である。その為、保護者とは密に情報共有をし子どもの状況を確認している。	●今後も子ども達の体調管理も含め、子どもの状況を確認し、保護者とは密に情報共有をしていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	●食物アレルギー児童はいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	●誤嚥など危険がある児童やてんかん発作がある児童に関しては、記録をとり情報を共有した中で支援を行っている。 ●重症心身障がい者育成研修を受けている。	●発作や誤嚥など危険があったことを想定した訓練を定期的に行うよう努める。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	●てんかん発作や医ケアの児童達への支援については看護師が家族と情報共有をしながら何かあった場合には職員・家族と連携が取れるようになっている。	●今後も職員・家族とすぐに連携がすぐにとれるよう努めていく。



52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	●起こった場合には報告書を必ず作成し、職員間で話し合い検証している。	●反省点を踏まえ、同じ事が繰り返されることのないように職員間で注意をし見守りを強化するよう努めている。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	●法人で虐待防止委員会を設置し、各事業所の委員が会議を行い中心となって虐待防止に努めている。また、年3回の人権擁護チェックを行い、虐待防止委員会での会議で話し合われた結果を職員会議で職員にフィードバックをし振り返りを行っている。	●今後も、虐待防止の取り組みを職員間で情報を共有しながら適切な対応をするようにしていく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	●車椅子や座位保持椅子の使用に関しては保護者から同意を得ている。	●座位がとれない利用児は座位保持椅子や車椅子を使用しているが、座りっぱなしにならないようにしている。